



「未来の京のまち」櫻澤采穂（7歳）

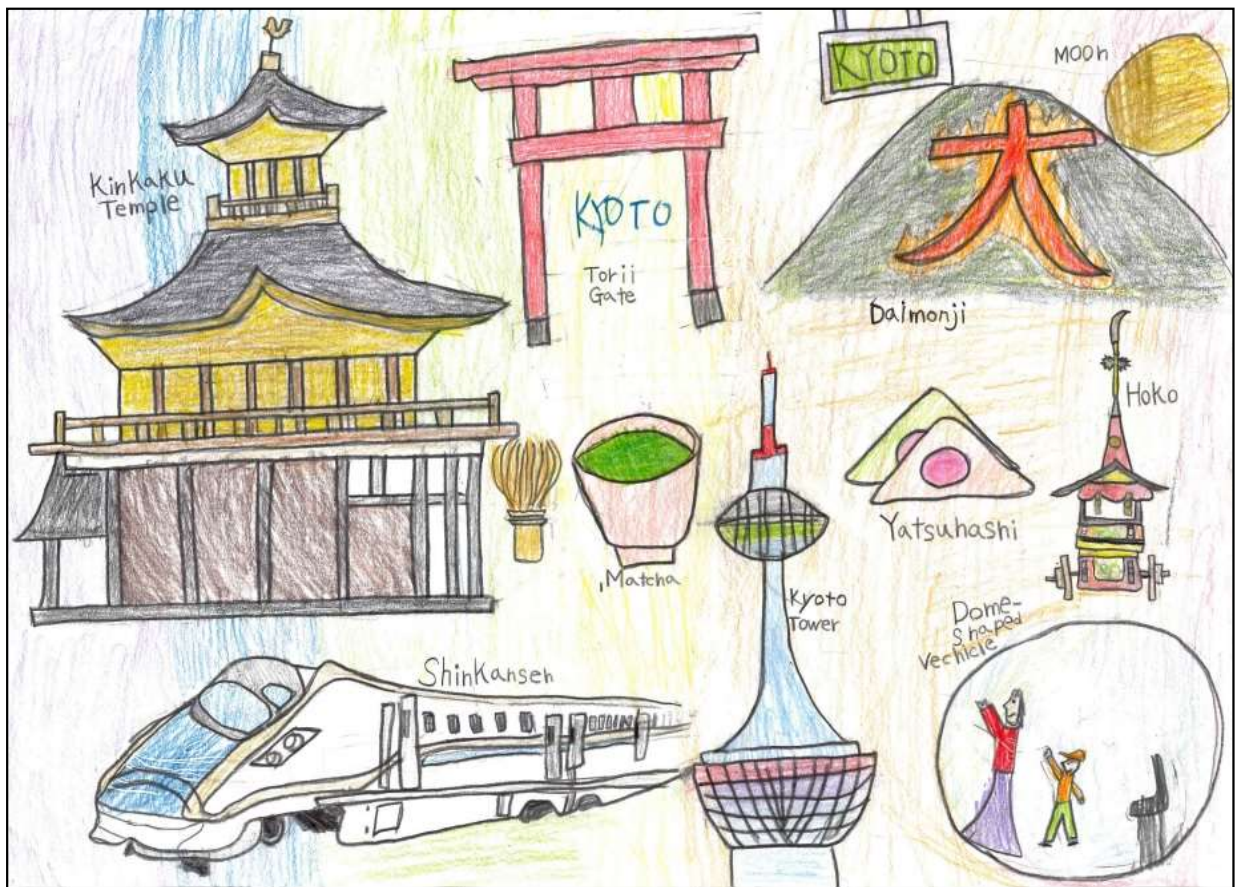
京都の街がどんなに変わってもあり続けてほしい、祭、桜、寺院を未来都市（未来の土偶、とうもろこし型のビル）に描きました。



「大文字の送り火」村上詩織（9歳）

春に大文字山に花崗岩の観察に行き、大文字の「大」の字の大きさに驚いてから大好きになりました。世界の人々に、火が灯った時の美しさを紹介したいと思い、この絵を描きました。





「京都といえばここ！おこしやす」内田匠（7歳）

いつかはカプセルに乗って京都を探検できれば、天気に関係なく、歴史を傷つけず、汚さず眺めることができるのになぁと思って描きました。



「京都の大文字」岡本雪作（8歳）

送り火の一部だけでなく、全体を描きました。





「虹のまち」森田汀花（7歳）

東山の麓に住んでいます。家の近くに稲荷大社があり、千本鳥居をくぐって友達と落ち葉やどんぐりを拾って、たくさん遊びました。そんな楽しい思い出を大好きな虹と一緒に描きました。世界の街と京都の架け橋になれば、嬉しいです。



「京都市のモダン建築」森井敢太（11歳）

京都市では、優れた景観を守り、育て、50年後、100年後の未来へ引き継いでいくために、建築物の高さとデザイン、屋外広告物の規制等の景観政策を実施している。それを知って描きました。



「桂六斎念佛」馬渕心晴（7歳）

私の住んでいる地域には、風流踊の一つとしてユネスコ無形文化遺産に登録された「桂六斎念佛」があります。この絵は「祇園ばやし」という演目を描いたものです。